

開



薬液量
1.5mL
No.12
1本入り×30

10%ポビドンヨード液+綿棒

プッシュ綿棒P

外皮用殺菌消毒剤

第3類医薬品

製品特長

プッシュ綿棒Pは綿棒と外皮用殺菌消毒剤である10%ポビドンヨード液を別ポケットにて包装した製品です。使用前に綿棒を薬液ポケットに"プッシュ"することにより10%ポビドンヨード液を含ませ、使用できます。

衛生的

個包装で使い切りタイプです。

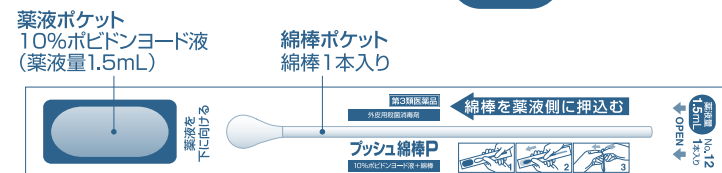
綿棒の軸部分に10%ポビドンヨード液がつきません。

消毒に適した薬液量

1回分が包装されており無駄がありません。

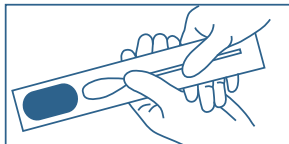
携帯に便利

個包装ですので携帯に適しております。

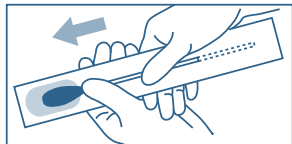


綿棒の取り出し方

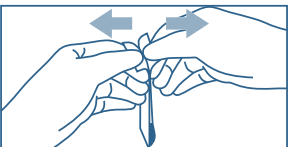
以下のようにして薬液を含浸させて、開封してください。
薬液と綿棒が見える向きに持ち、綿棒を押し込んでください。



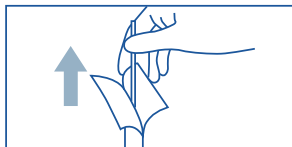
1 綿棒を両手で
押さえるように持つ



2 綿棒を薬液側に
押込む



3 フィルムを
左右に剥がす



4 綿棒を取り出す

発売元
吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10

製造販売元
ハクソウメディカル株式会社
大阪市中央区徳井町2丁目4番9号



4 987288 950059

LOT

EXP

薬液量
1.5mL
No.12
1本入り×30

第3類医薬品

外皮用殺菌消毒剤

プッシュ綿棒P

10%ポビドンヨード液+綿棒

【成分及び分量】

プッシュ綿棒Pの薬液は、1mL中に下記の成分を含有する。

有効成分	日局ポビドンヨード100mg (有効ヨウ素10mg)
添加物	ラウロマクロゴール、リン酸水素ナトリウム、クエン酸

【保管及び取扱い上の注意】

使用期限 2年(包装等に記載)

- 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)。
- 衣服等に付着すると着色するので注意すること。なお付着した場合にはすぐに水でよく洗い落とすこと。
- 開封後はすみやかに使用すること。

ご使用に際して、箱の記載を必ずお読みください。

お問い合わせ先

吉田製薬株式会社 お客様相談室
東京都中野区中央5-1-10
TEL.03-3381-2004
受付時間9:00～17:00 (土、日、祝日を除く)
副作用被害救済制度の問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
☎ 0120-149-931 (フリーダイヤル)

紙 小箱

第3類医薬品

外皮用殺菌消毒剤

プッシュ綿棒P

10%ポビドンヨード液+綿棒

薬液量
1.5mL
No.12
1本入り×30

綿棒の取り出し方は
裏面を参照してください

発売元
吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10

製造販売元
ハクソウメディカル株式会社
大阪市中央区徳井町2丁目4番9号

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)
次の人は使用しないこと。

- 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。



■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 患部が広範囲の人。
 - 深い傷やひどいやけどの人。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみじんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3. 5～6日間使用しても症状がよくなりえない場合は使用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

【効能又は効果】

切り傷、さし傷、すりむき傷、靴ずれ、やけどなどの患部の殺菌・消毒。
とびひ、おでかなどの感染皮膚面の殺菌・消毒

【用法及び用量】

1日数回患部に塗布すること。

〈用法及び用量に関連する注意〉

- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させること。
- 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗うこと。
なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けること。
- 本剤は外用にのみ使用し、内服、うがいや粘膜の殺菌・消毒には使用しないこと。

製品特長

プッシュ綿棒Pは綿棒と外皮用殺菌消毒剤である10%ポビドンヨード液を別ポケットにて包装した製品です。使用前に綿棒を薬液ポケットに“プッシュ”することにより10%ポビドンヨード液を含ませ、使用できます。

衛生的

個包装で使い切りタイプです。

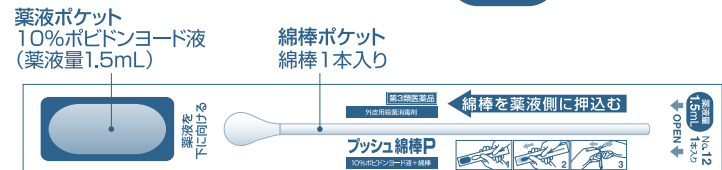
綿棒の軸部分に10%ポビドンヨード液がつきません。

消毒に適した薬液量

1回分が包装されており無駄がありません。

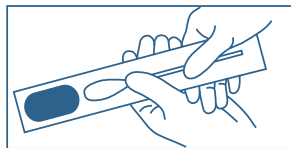
携帯に便利

個包装ですので携帯に適しております。

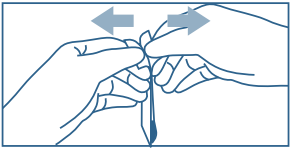


綿棒の取り出し方

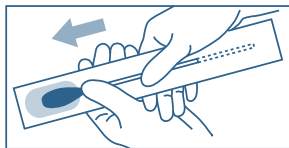
以下のようにして薬液を含浸させて、開封してください。
薬液と綿棒が見える向きに持ち、綿棒を押込んでください。



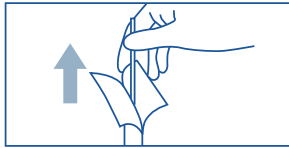
1 綿棒を両手で
押さえるように持つ



2 綿棒を薬液側に
押込む



3 フィルムを
左右に剥がす



4 綿棒を取出す



発売元

吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10



製造販売元

ハクゾウメディカル株式会社
大阪市中央区徳井町2丁目4番9号



4 987288 950059

LOT

EXP

薬液量 **1.5mL** No.12
1本入り×30

第3類医薬品

外皮用殺菌消毒剤

プッシュ綿棒P
10%ポビドンヨード液＋綿棒

【成分及び分量】

プッシュ綿棒Pの薬液は、1mL中に下記の成分を含有する。

有効成分	日局ポビドンヨード100mg（有効ヨウ素10mg）
添加物	ラウロマクロゴール、リン酸水素ナトリウム、クエン酸

【保管及び取扱い上の注意】

使用期限 2年（包装等に記載）

- 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
- 衣服等に付着すると着色するので注意すること。なお付着した場合にはすぐに水でよく洗い落とすこと。
- 開封後はすみやかに使用すること。

ご使用に際して、箱の記載を必ずお読みください。

お問い合わせ先

吉田製薬株式会社 お客様相談室
東京都中野区中央5-1-10
TEL.03-3381-2004

受付時間9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先

（独）医薬品医療機器総合機構

http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

☎ 0120-149-931（フリーダイヤル）



小箱

第3類医薬品

外皮用殺菌消毒剤

プッシュ綿棒P

10%ポビドンヨード液＋綿棒

薬液量 **1.5mL** No.12
1本入り×30

綿棒の取り出し方は
裏面を参照してください



発売元

吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10



製造販売元

ハクゾウメディカル株式会社
大阪市中央区徳井町2丁目4番9号

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）
次の人は使用しないこと。

- 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。



■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

- 医師の治療を受けている人。
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- 患部が広範囲の人。
- 深い傷やひどいやけどの人。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック （アナフィラキシー）	使用後すぐに、皮膚のかゆみじんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

【効能又は効果】

切り傷、さし傷、すりむき傷、靴ずれ、やけどなどの患部の殺菌・消毒。
とびひ、おできなどの感染皮膚面の殺菌・消毒

【用法及び用量】

1日数回患部に塗布すること。

〈用法及び用量に関連する注意〉

- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させること。
- 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗うこと。
なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けること。
- 本剤は外用にのみ使用し、内服、うがいや粘膜の殺菌・消毒には使用しないこと。